

カリキュラム(計画) 外国の子どもの学習サポーター養成講座 第1回

作成者 氏名：茂木 眞佐代

○養成・研修 / 基礎・専門・○支援員 (該当するものに○)

| | | | | |
|---|---|--|---|--|
| 日時・場所 | 2018年10月14日(日)10:00~12:30(150分) 於:磐田市豊田支所大会議室 | | | |
| 実施団体・機関 | 一般社団法人磐田国際交流協会 | | | |
| 研修・授業名 | 外国の子どもの学習サポーター養成講座 第1回(公開講座) | | | |
| 受講者 | ・人数: 33人 ・受講者の立場 外国の子どもの支援に関心がある人、既支援者 ・年齢層:20代(1)名 30-40代(7)名 50代(7)名 60歳以上(18)名 ・その他: | | | |
| 演題・テーマ☆ | 外国につながる子どものことを知ろう! | | ☆研修内容(報告書 pp.72-76)を反映 | |
| 到達目標 | 外国人児童生徒の現状と支援のあり方について概要を理解し、支援についての関心をより高める | | | |
| 活動展開(115分) | | ★ | 形態 | 留意点 |
| 活動1 外国人の子どもの置かれた現状と課題とは何か(90分) 講師:小島祥美 准教授 | | | | |
| 入: 1. アイスブレイク/5分 2. クイズ/10分 ワークシートを使ってグループ毎で考える 展開: 3. 外国人児童生徒が置かれた現状について/ 35分 ・外国人児童生徒等受け入れの現状と施策 ・認知発達と言語習得 ・社会的、歴史的背景 ・講師自身の経験 ・母語・母文化・アイデンティティ ・外国人児童生徒等の心理と適応 休憩/5分 4. サポーターができることを考える/20分 ・やさしい日本語の考え方と生かし方 ・応援できる情報とネットワーク まとめ/15分 5. 求められるサポートとは? | ③ ⑩ ⑥ ⑪ ⑫ ⑬ | 話し合い 講義 話し合い 講義 話し合い 講義 | 1グループ4~5人で向かい合わせで座る。 事前の配布はワークシートのみ 資料配布 DLA理論編より ブラジルとフィリピンの写真配布 フォトストーリー映像を見る(5分程度) 「ごんぎつね」配布 モチベーションと自己肯定感 保護者への適切な情報提供と スキルアップ支援 | 在留外国人統計、静岡県HP 「外国人の住民基本台帳人口」、磐田市HP 「国籍別外国人人口」、「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」、DLA、静岡県教育委員会HP「平成31年度公立高校をめざすあなたへ2」、新聞記事など |

| | | | |
|--|-------------|----|---------|
| 活動2 磐田市の現状と支援体制について(15分) 報告者:田中暁子 指導主事 | | | |
| 報告:「磐田市の現状と支援体制について」 1. 磐田市の外国人の動向 2. 外国人児童生徒の動向 3. 外国人児童生徒の受け入れと支援体制 4. 最近の進路状況 | ③ ④ ⑤ | 講義 | 市教委作成資料 |

※ 講義の他に、趣旨説明、アンケートの説明、休憩、質疑応答、アンケート記入などの時間があります。